

南仏事件情報（2017年5月分）

（1）テロ関連事件

●3日（水）、マルセイユ市中心部で、過激化した少女（14歳）が警察に逮捕された。少女はISの影響を受け、SNSでシリアに行きたいという希望を表明していた。

（2）殺人、強盗、強姦事件等

●2日（火）午前零時頃、マルセイユ市オグスト・ブランキ通り（5区）で、カップルが強盗4名に拳銃で脅され、鞆と携帯電話を奪われた。数分後、強盗4名は警察に逮捕された。

●14日（日）午前5時30分頃、マルセイユ市からカシに向かう道路沿いのディスコ前（9区）で、客同士の喧嘩が発生し、男1名が他の男1名を刺し殺し、更に他1名の胸部を刺して重傷を負わせた。犯人の男は車両で逃走し、車両はオーバーニュで発見された。被害者2名は麻薬密売人として知られていた。

●14日（日）午後11時頃、カルパントラ（ヴォークリューズ県）の一軒家で、パーティの際に男性（35歳）が男（20代）に複数回刺されて死亡した。男は逮捕された。

●17日（水）午後8時頃、マルセイユ市モントリベ通り（12区）で、メリケンサックやハンマーを所持して覆面をした男3名が薬局を襲い、薬品等を奪った。

●18日（木）午前零時頃、ロクブルヌ・カピ・マルタン（アルプ・マリタイム県）で、女性（60代）が車両で自宅のガレージに戻ったところ、突然現れた若い男2名に車両のガラスを割られ、腕時計（時価約1万5千ユーロ）を奪われそうになったが、女性が車両の警報装置を鳴らしたところ、犯人らは逃走した。女性は負傷し、傷口を6針縫った。

●18日（木）午前零時頃、マルセイユ市15区の駐車場で、車内にいたカップルがメリケンサックを持った男3名に脅され、所持品を奪われた。

●18日（木）午前2時頃、同市アンリ・バリニエ通り（15区）のガソリンスタンドで、女性が給油していたところ、同様の強盗被害にあった。

●18日（木）午前6時頃、マルセイユ市オリンピック地区（8区）で、パン屋経営者が自宅を出たところ、カラシニコフ銃を所持した男4名に襲われ、自宅内に押し戻され、物を奪われた。男性は激しく殴打され、病院に搬送された。

●19日（金）午前零時頃、オーバーニュ（ブーシュ・デュ・ローヌ県、以下BdR県）で、酒に酔った男（29歳）が男性（49歳）と殴り合いになり、男性は頭部を蹴られて意識を失い、その後脳死状態になった。男は逮捕された。

●20日（土）午前8時30分頃、ペンヌ・ミラボウ（BdR 県）で、たばこ屋がけん銃を所持した男3名に襲われたが、店主が警報装置を作動させたため、犯人らは逃走した。

●20日（土）午後10時30分頃、マルセイユ市ノートルダム・ドゥ・サンタ・クル通り（14区）で、銃とメリケンサックで武装した男3名がスーパーを襲ったが、犯人の内1名が店主に突き飛ばされた。

●21日（日）午後、グラス（アルプ・マリチム県）の保養センターで、男（24歳）が父親を刃物で複数回刺して殺した。男は逮捕された後、精神科の病院に収容された。

●22日（月）午後9時45分頃、マルセイユ市ドゥジャン通り（6区）で、男性（77歳）が男2名（共に21歳）に地面に倒され、携帯電話と鞆を奪われた。目撃者の通報により、男2名は警察に逮捕された。

●22日（月）午後10時30分頃、アルジェル・スール・メール（ピレネー・オリアンタル県）で、少女2名（14歳と16歳）がパーティの際に男2名（14歳と26歳）に顔面を殴打され、強姦された。少女らは血まみれの顔で路上を歩いていたところ、警察に発見され、病院に搬送された。被害者の1名は顔面（特に眼窩）の怪我が重症のため、手術が必要。犯人らは逃走したが、同日逮捕された。

●26日（金）午後10時頃、マルチグ（BdR 県）で、覆面・手袋をした強盗数名がホテルに押し入り、経営者を自動式拳銃で脅したが、何も奪うことができずに逃走した。

●27日（土）午後9時45分頃、マルセイユ市ラ・ビスト地区（15区）で、男がバーに押し入り、メリケンサックで店主や客を脅し、レジ内から現金を奪って逃走した。

（3）薬物、銃器事件

●5月上旬、マルセイユ市14区にあるシテ（メゾン・ブランシュ）及びその周辺で、警察官200名による薬物密売組織に対する一斉摘発があり、13名が逮捕され、大麻2.5kg、コカイン100g、銃2丁及び現金3千ユーロが押収された。2016年10月、警察は同組織に関する情報を入手し、捜査を開始していた。

●16日（火）午後11時55分頃、マルセイユ市ベル・ドゥ・メ地区（3区）で、男（35歳）が酒に酔って銃を発射し、警察に逮捕された。

●16日（火）、17日（水）、麻薬密売人4名が薬物密売のトラブルで男性1名を監禁した容疑で逮捕された。捜索の結果、銃器とコカイン53gが押収された。犯人4名の内、2名はマルセイユ（13区のシテ及び市中心部のバー）、マルチグ、トゥーロン及びラセーヌ・スール・メールで薬物の密売をしてお

り、他2名は薬物の卸売りをしていたガイアナ人でフランスに滞在中だった。

●26日（金）午後11時30分頃、マルセイユ市ノアイユ地区（1区）で、男数名の争いが発生し、男性（22歳）が太腿部を銃で撃たれて負傷した。

●29日（月）朝、モンペリエ市マレル地区とゲリ地区のシテで、警察による一斉捜索が行われ、薬物、銃器及び現金が押収され、6名が逮捕された。

●29日（月）午後7時30分頃、アジャクシオ（コルス・デュ・シュッド県）で、男性（50歳）が男2名に銃で撃たれて死亡した。

（4）傷害事件

●4日（木）朝、マルセイユ市ペリエ高校前（8区）で、王室派（アクション・フランセイズ）の活動家がビラ配りをしていたところ、高校生（17歳）が同ビラを地面に捨てて拾わなかったため、活動家らに激しく殴られた。警察は犯人特定のため捜査を開始した。

●8日（月）午前6時30分頃、マルセイユ市シャルトル通り（4区）で、男性（21歳）が母親の知人の男（34歳）に胸部を刺されて負傷した。男性は男が母親の自宅から出て行かなかったため、こん棒で殴り、男に反撃を受けたもの。男は逮捕された。

●16日（火）午前3時頃、マルセイユ市サカキニ通り（5区）付近で、男性（18歳）が複数の男に刃物で襲われ、胸部、脇腹及び臀部を負傷した。男らは同市14区方向に逃走した。

●16日（火）午前11時30分頃、マルセイユ市カステランヌ（6区）の路上で、ユダヤ人の男性が男にメリケンサックで脅されたが、怪我はなかった。男はハンマー様の物も所持していた。男は逃走中。

●24日（水）午前9時頃、カンヌ市ラ・ボッカ地区のマンションで、住人の男性（55歳）が近隣住民の男に腹部を刺された。男の息子も被害者の男性を殴った。男と息子は逮捕された。

●24日（水）午後6時30分頃、マルセイユ市リヨン通り（15区）で、母親が息子（19歳）と意見が合わず、刃物で大腿部を刺した。息子は病院に搬送された。

（5）窃盗事件

●1日（月）、マルセイユ市プラン・ダウ地区（15区）にある小学校に何者かが屋根から侵入し、消火器を空にし、自転車1台と鞆を盗んだ。

●17日（水）午前8時頃、マルセイユ市旧港の市役所付近（2区）で、付近住民から警察に刃物を持った若い男がいると通報があった。警察官が現場に急行し、少年（17歳）を発見して所持品検査をしたところ、少年は刃物と旧港に係留されている船15隻から盗んだ盗品数点を所持していた。少年のため

の裁判官の審査が行われる。

(6) 交通事故

●9日(火)午前9時30分頃、ロクブルヌ・カピ・マルタン(アルプ・マリタイム県)の路上で、自転車競技選手(ツール・ド・フランス3度優勝)が自転車に乗ってトレーニングをしていたところ、車両に衝突されたが、怪我はなかった。車両は逃走した。

●15日(月)午後6時15分頃、マルセイユ市ラ・フラジェル地区(12区)の交差点で、男性(84歳)が道路を横断中に車両に轢かれて死亡した。車両の運転手は逮捕され、歩行者を見ていなかったと説明した。

●25日(木)、2016年のオートバイ事故に関する統計が発表された。同統計によると、アルプ・ドゥ・オート・プロヴァンス県におけるオートバイ運転者の死亡率が上昇している。

●27日(土)午後11時30分頃、マルセイユ市カピ・ピネド付近の高速道路(A55)で、歩行者の男性(55歳)が車両に撥ねられて死亡しているのが発見された。運転手は逃走中。

(7) 火災事案

●4日(木)午後11時頃、セプテム・レ・バロン(BdR県)のアパートで火災が発生し、アパート内から炭化した男性の遺体が発見された。解剖の結果、暴行を受けた痕跡はなく、気管内にあったオリーブ3個による窒息死と認められた。

●5日(金)午前1時40分頃、マルセイユ市カモワン地区(11区)にある3階建てアパートで火災が発生し、煙を吸った住人(19歳)が消防に救助された。アパート一部(約40平方メートル)が焼失した。

●5日(金)午後、アビニオンにある輸送会社で火災が発生し、トレーラー1台、コンテナ3台や建物一部が焼失した。出火原因は捜査中。

●12日(金)午後6時30分頃、マルセイユ市ベル・ドゥ・メ(3区)にあるアパートで火災が発生し、13名が一酸化炭素中毒で病院に搬送されたが死者は出なかった。容疑者のアルジェリア人男(29歳)が逮捕された。

●25日(木)午前3時頃、マルセイユ市サン・ジュリアン地区(12区)のマンションで火災が発生し、居住者約20名が救助されたが、女性3名と子供(2歳)が死亡した。出火原因は捜査中。

●27日(土)午後6時頃、マルセイユ市フラジェル地区(12区)の寮で火災が発生し、寮生1名が逃走したが、その後逮捕された。

(8) その他

- 1日午後5時頃、ロクブリュヌ・シュル・アルジャン（ヴァール県）で、超軽量飛行機が墜落し、男性（70歳）及び女性（45歳）が死亡した。原因は公表されていない。
- 1日午後10時頃、マルセイユ市ノアイユ（1区）で、砲弾の様な不審物が発見され、一時騒然となった。同日午後11時頃、爆発物処理部隊が不審物の中身はくず鉄の塊であることを確認し不審物を撤去した。不審物を置いた目的は悪ふざけ。
- 5日（金）から7日（日）までの間にマルセイユ市6区にあるユダヤ教会建物に鉤十字が落書きされ、告訴が申し立てられた。
- 12日（金）、マルセイユ市旧港で、不審なスーツケースが発見され、兵士により警告が発せられたが、兵士によりスーツケースの中身は爆発物ではないことが確認された。
- 14日（日）朝、エクス・アン・プロヴァンスで、自殺を試みて病院に搬送された男性が刃物を奪い取り、自らを切りつけ死亡した。
- 23日（火）午後7時頃、マルセイユ市サン・アンリ駅（16区）で、男性1名が列車に飛び込み自殺した。
- 23日（火）夜、カンヌ市ラ・ボッカ地区の列車内で、移民のセネガル男性（30歳）が感電死しているのが発見された。
- 24日（水）、ボランティアに付き添われた移民約80名がニース市内の公園に集まり、緊急の宿泊所等を要求した。今年1月からフランス・イタリア国境からの移民数が増加している。
- 25日（木）夜、バレンソル（アルプ・ド・オート・プロヴァンス県）で、自宅にいた少年（8歳）に、鉄の棒が誤って胸部に突き刺さり、ヘリコプターで病院に搬送された。鉄の棒は胸部を貫通していたが、重要な臓器には触れていなかった。
- 27日（土）正午前、プラニエ島沖で、ダイバーが潜水中の事故によりヘリコプターで救助され、トゥーロンの病院に搬送された。
- 28日（日）午前、マルセイユ市マルムスク（7区）の海で、女性（55歳）が冷水ショックにより意識のない状態で水面に浮いているのが発見され、消防隊に救助され、病院に搬送された。
- 29日（月）、サンチュ（オート・コルス県）の山中で、25日から行方不明になっていたマルセイユ市在住の男性ハイカーが無事憲兵隊に救助された。

※ ここに掲載した事件は新聞等の公開情報をもとにまとめておりますが、掲載した事件以外にも日々各種事件が発生していることを申し添えさせていただきます。